

# モーダルシフト促進のための 貨物鉄道輸送障害時の代替輸送に係る 諸課題について



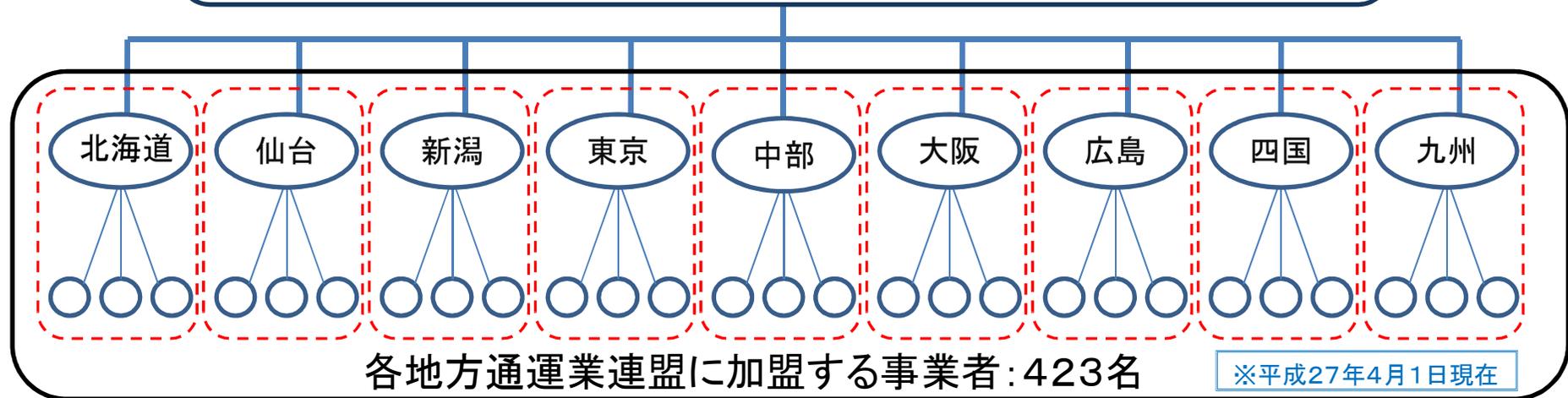
平成27年4月13日

公益社団法人 全国通運連盟



(公社)全国通運連盟

地方通運業連盟9団体と、  
各地方通運業連盟が推薦する事業者等、78名により構成



### 【主な事業】

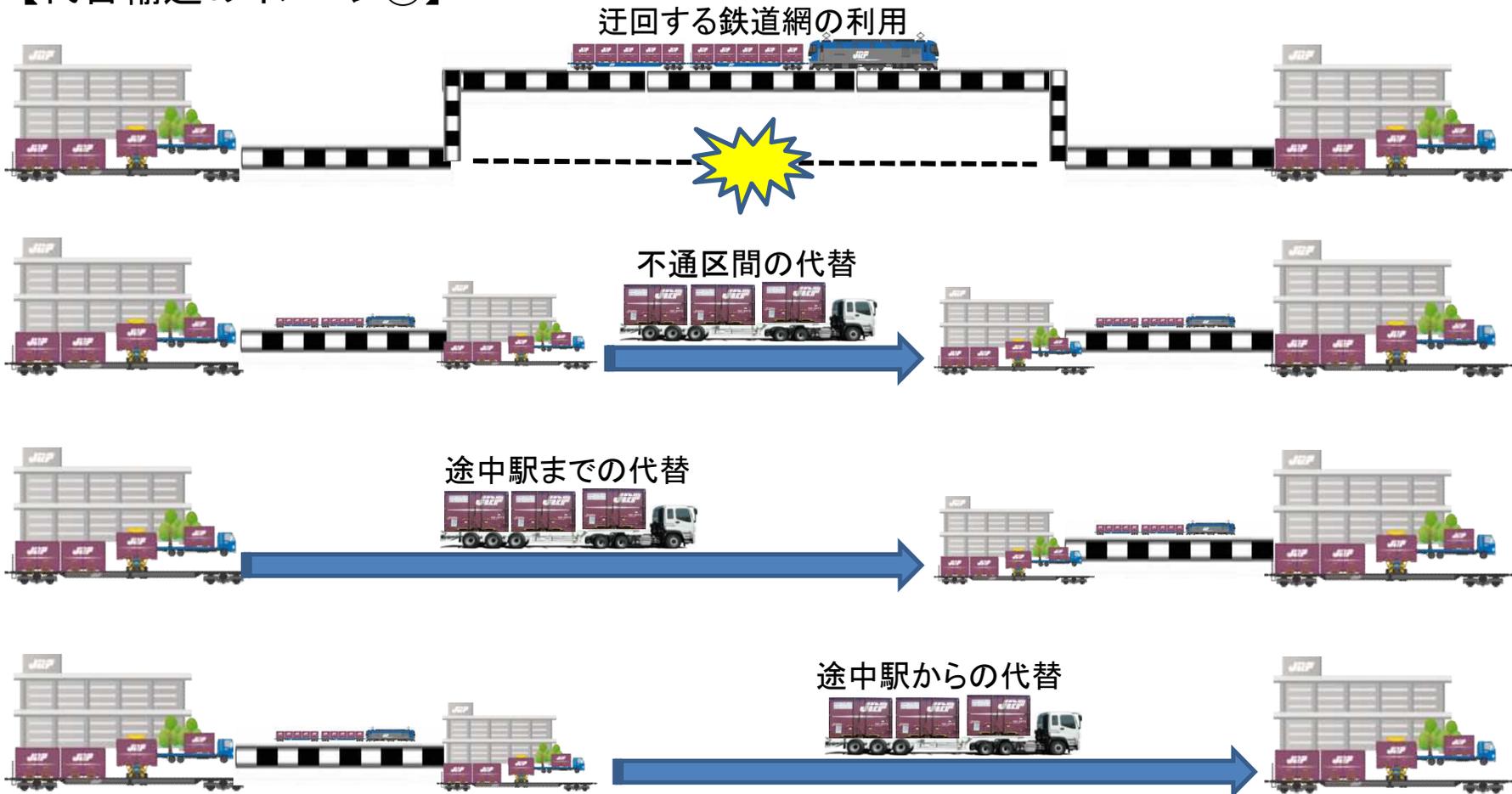
- (1) 鉄道コンテナお試しキャンペーン
- (2) 31フィートコンテナ等の導入支援
- (3) 鉄道コンテナ輸送についての広報・宣伝
- (4) トラック代替輸送支援等の輸送障害対応

# 大規模輸送障害発生時における対応について①



大規模輸送障害の発生時には、JR貨物と連携してトラック代替輸送の手配、迂回列車の案内等を実施しています。

## 【代替輸送のイメージ①】

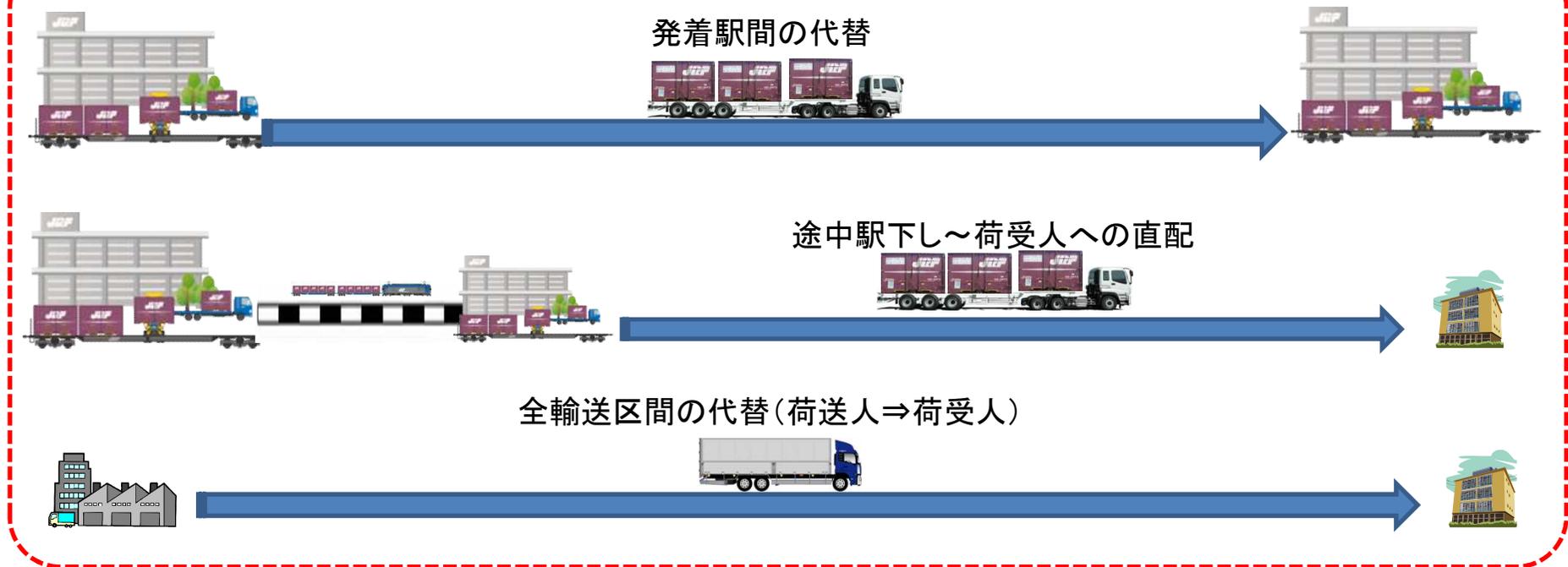


東海道線の不通時には、通運事業者の保有するトラック(約6,000台)のうち、平均55台/日(延べ約500台)により代替輸送を実施しました。

## 大規模輸送障害発生時における対応について②



### 【代替輸送のイメージ②】



### 【トラック代替輸送の問題点】

- ①JR貨物と連携した代替輸送の事前準備不足
- ②トラック代替輸送の拠点が事業者の所在地から遠方な場合の運行管理
- ③トラック需給バランスの柔軟なコントロールが出来ていない



### 【鉄道への要望】

- ①迅速な代替(迂回)ルートの設定  
(⇒迂回ルートの複数設定、大型コンテナへの対応を含む)
- ②迅速かつ正確な情報伝達  
(⇒SNS等のメディアを積極的に活用する。)
- ③納期を重視しての、途中駅下し
- ④第三セクター線区間内での輸送障害発生時の十分な対応  
⇒JR貨物もJR旅客会社の所有する線路を利用している立場であり、旅客会社以外が線路を所有している第三セクター区間においても、旅客会社と同様な迅速性のある復旧工事が行われるのか非常に不安を感じております。

### 【行政への要望】

- ①主要な幹線の想定される代替ルート区間における大型車両の道路通行手続きの緩和
- ②営業所間の車両移動の弾力化・運行管理の特例
- ③危険品の代替輸送における乗務員の危険物取扱者資格等の柔軟な対応  
⇒危険物をISOタンクコンテナで輸送する場合、乗務員に関しては危険物取扱者の乗車が必要となっていますが、代替輸送は荷役を伴わない駅間の輸送であるので、何らかの緩和対応が必要と考えます。